



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月3日

上場会社名 株式会社 デンソー

上場取引所 東名

コード番号 6902 URL <http://www.denso.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 加藤 宣明

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 浅若 正識

TEL 0566-25-5850

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(記載金額は百万円未満を四捨五入表示)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	3,016,557	17.4	289,882	54.2	329,408	55.7	225,588	72.5
25年3月期第3四半期	2,569,384	16.0	187,975	128.9	211,508	119.6	130,803	259.7

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 435,457百万円 (130.0%) 25年3月期第3四半期 189,348百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	283.31	283.11
25年3月期第3四半期	162.68	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,346,026	2,792,153	61.2
25年3月期	3,979,093	2,426,861	57.8

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 2,661,798百万円 25年3月期 2,300,064百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	27.00	—	37.00	64.00
26年3月期	—	47.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	47.00	94.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,080,000	13.9	380,000	44.8	420,000	41.9	283,000	55.8	355.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成26年2月3日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P3.「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	884,068,713 株	25年3月期	884,068,713 株
26年3月期3Q	87,382,238 株	25年3月期	88,582,234 株
26年3月期3Q	796,244,497 株	25年3月期3Q	804,066,106 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想については、平成25年10月31日の平成26年3月期第2四半期の決算発表時に公表した数値から本資料において修正しています。連結業績予想の修正については、本日(平成26年2月3日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、平成26年2月3日に証券アナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

「参考」個別業績予想

平成26年3月期の個別業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
	2,480,000	8.9	230,000	86.1	300,000	53.2	222,000	52.0	278	64

（注）個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（セグメント情報等）	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、平成25年4月に「地球環境の維持と成長の両立」と「一人ひとりが幸せで、安心・安全に暮らせる社会」を目指す姿とした「デンソーグループ2020年長期方針」を発表しました。そして、今後3年間で達成すべき目標や取り組むべき施策を「デンソーグループ・グローバル中期方針」としてまとめ、「持続的成長に向けた事業拡大へのチャレンジ」「世界初を生み出し続ける企業への進化」「グローバルな総智・総力の発揮とスピード経営の実現」を掲げ活動を進めています。

当第3四半期連結累計期間の業績については、車両生産台数の増加や、円安効果により、売上高は、3兆166億円（前年同四半期比4,472億円増、17.4%増）と増収になりました。営業利益は、経費・労務費の増加があったものの、合理化努力に加え、売上増加による操業度差益や円安による為替差益等により、2,899億円（前年同四半期比1,019億円増、54.2%増）と増益、経常利益は3,294億円（前年同四半期比1,179億円増、55.7%増）、四半期純利益については、2,256億円（前年同四半期比948億円増、72.5%増）といずれも増益になりました。

セグメント別の業績については、日本は、車両生産台数は前年並みだったものの、海外向け売上の増加や円安効果により、売上高は2兆200億円（前年同四半期比2,020億円増、11.1%増）と増収になりました。営業利益は、研究開発費をはじめとする経費の増加があったものの、合理化努力に加え、売上増加による操業度差益や円安による為替差益等により2,201億円（前年同四半期比947億円増、75.6%増）と増益になりました。

北米地域は、好調な経済による車両生産台数の増加や、円安効果により、売上高は5,998億円（前年同四半期比1,496億円増、33.2%増）と増収、営業利益は、売上増加による操業度差益等により117億円（前年同四半期比24億円増、26.3%増）と増益になりました。

欧州地域は、低迷した市場が底を打ったことに加え、円安効果により、売上高は3,557億円（前年同四半期比962億円増、37.1%増）と増収、営業利益は、売上増加による操業度差益等により65億円（前年同四半期比56億円増、687.7%増）と増益になりました。

豪亜地域は、主に中国での車両生産台数の増加や、円安効果により、売上高は7,077億円（前年同四半期比1,672億円増、30.9%増）と増収、営業利益は、労務費等の増加があったものの、売上増加による操業度差益や円安による為替差益等により586億円（前年同四半期比55億円増、10.4%増）と増益になりました。

その他地域は、売上高は562億円（前年同四半期比104億円増、22.7%増）と増収、営業利益は4億円（前年同四半期比22億円減、84.3%減）と減益になりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産については、投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ3,669億円増加し、4兆3,460億円となりました。

負債については、前連結会計年度末に比べ16億円増加し、1兆5,539億円となりました。

純資産については、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ3,653億円増加し、2兆7,922億円となりました。

### (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想については、車両生産台数の増加と為替の変動を踏まえ、売上高は、4兆800億円（前期比4,991億円増、13.9%増）、営業利益は3,800億円（前期比1,176億円増、44.8%増）、経常利益は4,200億円（前期比1,240億円増、41.9%増）、当期純利益は2,830億円（前期比1,013億円増、55.8%増）に上方修正いたします。前提となる為替レートは、第4四半期では、1US\$=104円、1ユーロ=142円、通期では、1US\$=100円、1ユーロ=135円です。

なお、上記の業績予想には、現時点での入手可能な情報に基づく将来の予測が含まれています。今後の事業運営や為替の変動等内外の状況変化により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。）が平成25年4月1日以後開始する連結会計年度の期首から適用できることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間よりこれらの会計基準等を適用し、退職給付債務から年金資産の額を控除した額を退職給付に係る負債として計上する方法に変更し、未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用を退職給付に係る負債に計上しました。また、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更しました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務から年金資産の額を控除した額を退職給付に係る負債として計上したことに伴う影響額をその他の包括利益累計額の退職給付に係る調整累計額に加減しています。また、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を当第3四半期連結累計期間の期首の利益剰余金等に加減しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首のその他の包括利益累計額が21,959百万円減少、利益剰余金が29,903百万円増加、少数株主持分が452百万円減少し、合計で純資産の額が7,492百万円増加しています。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	665,152	609,087
受取手形及び売掛金	586,312	594,454
電子記録債権	53,738	46,436
有価証券	430,052	415,907
たな卸資産	370,662	429,274
その他	177,798	177,375
貸倒引当金	△1,828	△1,987
流動資産合計	2,281,886	2,270,546
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	341,227	381,591
その他（純額）	544,933	631,000
有形固定資産合計	886,160	1,012,591
無形固定資産		
	15,456	22,948
投資その他の資産		
投資有価証券	653,299	875,796
その他	142,616	164,462
貸倒引当金	△324	△317
投資その他の資産合計	795,591	1,039,941
固定資産合計	1,697,207	2,075,480
資産合計	3,979,093	4,346,026
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	456,603	468,693
1年内償還予定の社債	100,000	40,000
短期借入金	56,272	95,141
未払法人税等	55,128	37,735
賞与引当金	59,766	28,335
役員賞与引当金	641	488
製品保証引当金	56,847	51,390
その他	188,289	219,394
流動負債合計	973,546	941,176
固定負債		
社債	90,000	80,000
長期借入金	261,248	231,377
退職給付引当金	197,248	—
役員退職慰労引当金	1,811	1,561
退職給付に係る負債	—	206,450
その他	28,379	93,309
固定負債合計	578,686	612,697
負債合計	1,552,232	1,553,873

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	187,457	187,457
資本剰余金	267,332	268,826
利益剰余金	1,933,814	2,122,439
自己株式	△224,505	△221,483
株主資本合計	2,164,098	2,357,239
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	226,354	343,830
繰延ヘッジ損益	17	△596
為替換算調整勘定	△90,405	△15,355
退職給付に係る調整累計額	—	△23,320
その他の包括利益累計額合計	135,966	304,559
新株予約権	2,293	780
少数株主持分	124,504	129,575
純資産合計	2,426,861	2,792,153
負債純資産合計	3,979,093	4,346,026



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	2,569,384	3,016,557
売上原価	2,171,455	2,455,445
売上総利益	397,929	561,112
販売費及び一般管理費	209,954	271,230
営業利益	187,975	289,882
営業外収益		
受取利息	5,768	6,461
受取配当金	7,566	12,545
為替差益	7,638	14,567
持分法による投資利益	3,087	4,065
その他	9,631	15,661
営業外収益合計	33,690	53,299
営業外費用		
支払利息	4,944	6,040
固定資産除売却損	2,315	2,355
その他	2,898	5,378
営業外費用合計	10,157	13,773
経常利益	211,508	329,408
特別利益		
固定資産売却益	706	16
特別利益合計	706	16
特別損失		
投資有価証券評価損	82	62
特別損失合計	82	62
税金等調整前四半期純利益	212,132	329,362
法人税、住民税及び事業税	49,138	80,546
過年度法人税等	4,683	3,776
法人税等調整額	14,330	3,346
法人税等合計	68,151	87,668
少数株主損益調整前四半期純利益	143,981	241,694
少数株主利益	13,178	16,106
四半期純利益	130,803	225,588

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	143,981	241,694
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17,648	117,602
繰延ヘッジ損益	△373	△613
為替換算調整勘定	27,507	74,391
退職給付に係る調整額	—	△1,170
持分法適用会社に対する持分相当額	585	3,553
その他の包括利益合計	45,367	193,763
四半期包括利益	189,348	435,457
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	173,324	416,140
少数株主に係る四半期包括利益	16,024	19,317

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間において、総額66,867百万円の剰余金の配当を行っています。また、第1四半期連結会計期間の期首より、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、期首の利益剰余金の額が29,903百万円増加しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	日本	北米	欧州	豪亜	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	1,339,512	442,588	243,182	498,411	2,523,693	45,691	2,569,384
(2) セグメント間の内部売上高	478,513	7,663	16,291	42,125	544,592	85	544,677
計	1,818,025	450,251	259,473	540,536	3,068,285	45,776	3,114,061
セグメント利益	125,366	9,242	820	53,099	188,527	2,562	191,089

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、南米等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	188,527
「その他」の区分の利益	2,562
セグメント間取引消去	△3,114
四半期連結損益計算書の営業利益	187,975

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	日本	北米	欧州	豪亜	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	1,395,908	587,338	334,623	642,740	2,960,609	55,948	3,016,557
(2) セグメント間の内部売上高	624,072	12,493	21,060	64,963	722,588	203	722,791
計	2,019,980	599,831	355,683	707,703	3,683,197	56,151	3,739,348
セグメント利益	220,110	11,672	6,459	58,619	296,860	403	297,263

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、南米等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	296,860
「その他」の区分の利益	403
セグメント間取引消去	△7,381
四半期連結損益計算書の営業利益	289,882

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

P3. 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更しています。当該変更による当第3四半期連結累計期間のセグメント利益への影響は軽微です。